

# 図書館だより



ルソー『社会契約論』1762  
『人間不平等起源論』1755より

## 貴重書（コレクション）展示会

### 学生参加の図書館づくり

本学では入試制度の多様化に伴い、従来の学力一辺倒による選考だけでなく、幅の広い学生が入学し、図書館における利用方法も以前に比べ多岐にわたっております。そのため図書館におきましても「利用者サービスの充実と情報化の推進」に努めてまいりました。

その一端として「学生参加の図書館づくり」を掲げ、全国の大学図書館において類を見ない企画として、学生の参加を募り書店で自由に選書してもらい、選んだ本を図書館の蔵書に加えるなど、学生のニーズに即した企画も昨年で3回目を迎えました。このことが話題となりテレビ・新聞等においても取り上げられました。毎年参加学生から後輩の為にもこの企画を継続してほしいとの強い要望も多く、今後も読書週間の時期に実施していく予定であります。

また、学生にとって今までの集大成ともいえる重要な就職においても、近年経済状況の悪化と産業構造の変換期とが相俟って、就職活動も厳しさをましており、館内に就職コーナーを設置して各種資格資料を始め、就職活動に役立つ資料を配架して学生に有効活用して頂いております。

学生の教育・研究における図書資料・情報収集についても、検索方法の説明等のライブラリー・ツアー等を実施しております。視聴覚教育の一環としても視聴覚資料の有効利用を図り、ライブラリー・コンサートを定期的に関催しております。

今後も学生諸君にとって、学び甲斐のある知的アメニティー空間として教育環境を確保するため、図書館として最善の支援と努力を尽してまいります。

総合図書館事務長 渡辺正宏

## I N D E X

### 特集：人間環境学部開設記念号

●図書館雑感	2.3
●人間環境学部開設記念特集	4
●環境関係の図書の一部紹介	5
●公共図書館に行ってみよう！	6
●第3回学生（選書）モニター実施結果について（報告）	7
●学生（選書）モニターについての感想	8
●学生（選書）モニターが選書した図書の一覧	9
●学生選書モニターの意見・要望について（Q&A）	10
●平成13年度総合図書館開館スケジュール	11
●総合図書館インフォメーション	12

近頃はやりの「ものづくり」について、ある例から考えてみよう。

それは青色発光ダイオードと青紫色レーザーダイオードの発明者の日亜化学工業(株) (現カリフォルニア大学サンタバーバラ校教授) の中村修二氏のことである。それまでの赤色や緑色に加えて青色の発光ダイオードが開発されたので三原色が揃い、白色を含む好みの色が出せるのでフルカラーのディスプレイが可能になり、発光ダイオードの応用は大きく広がった(交通信号機、自動車のブレーキランプ、カラーテレビ、携帯電話のバックライト、飛行機の室内灯など)。また青紫色レーザーダイオードが実用化されたことにより、DVDの大容量化(映画10本分が筐に入る)に伴うコンピュータの高性能化、深海や宇宙空間での通信などその応用は無限の広がりをもつだろう。こんな大きなノーベル賞クラスのことを地方の小さい企業のサラリーマン研究員が一人でやったのである。この快挙の原動力は、徹底して考え抜いた末に生まれる独創性と最後までやり抜く粘りを持っていたからではあるが、中村氏は実験装置をすべて一人で手作りしたのであり、これが他では真似のできない独創性に満ちたものであった。そこに成功の秘密があり、「ものづくり」

総合図書館長 松下 辰彦

「ものづくり」雑感

の精神が生きていたのである。地道な研究開発には地道な努力が必要であり、いかに最先端のこととはいえ、「ものづくり」の職人的技能が必要なことの良い例である。さてこの中村氏の脳のはたらきは他とどのような違いがあるのだろうか。近頃は脳のままざまな働き・思考、記憶、情動、知覚を優れた映像技術によってその一端を覗くことが可能になった。そして精神という領域に光を当て脳のマッピングを作成しようとしている。しかし脳がつくりだす最大の産物・意識・の秘密を覗くことは到底できないだろう。何故なら意識は宇宙の果てをも包含し想像することができるからである。そしてこの意識はを鍛えるには矢張り本を読むことである。以上は最近つぎのような本を読んで得た感想であるがこれも意識のなせるわざなのであろうか。

- 1) 中村修二著、「考える力、やり抜く力、私の方法」(三笠書房)
- 2) 養老孟司監修、「脳と心の地形図」(原書房)
- 3) 磯部透三著、「宇宙のはてを見る」(講談社)
- 4) 佐藤文隆著、「量子宇宙をのぞく」(講談社)
- 5) 立花隆著、「21世紀知の挑戦」(文芸春秋)

若者の活字離れがすすみインターネットが各家庭に普及する中で、学生諸君の図書館の利用形態も様変わりしているように思われます。実験レポートやゼミの課題の参考書を求めて図書館に足を運ぶ以外に、自習室での試験前の下準備、休講でできた空き時間をCDやビデオの揃った視聴覚コーナーを利用して暇をつぶす、友人との待ち合わせなど、さまざまな形で利用されています。

図書館はあらゆる情報を提供する場であり、また、あらゆる情報や人の集まる場でもあります。そこに集まる人々の賑わいはその大学の元気をあらわすバロメーターであり、多くの人々に利用されてこそ総合図書館としての意味をなしてきます。

図書館に行けば必ず本を借りたり読まなければならないというのではなく、図書館でのルールをまもり自分にあった利用の仕方をすれば、けっこう居心地の良い場所となります。

図書館にはむつかしい専門書ばかりではなく、新聞をはじめ各分野の専門雑誌からCD、ビデオなど学生諸君の興味を満たしたり、疑問を解き明かすための資料がたくさんあります。

本を読むのが苦手という人は書架に並んだいろいろな本の背表紙の題名や装丁をながめてみるだけでも、その本の内容や雰囲気はある程度分かるものです。さらに興味のわいた本につい

ては、手に取りページをめくれば図や絵などで印象づけられ読んでみようという気分になるかもしれません。また、本が大好きという人は自分の必要とする分野の本が、どこにどれだけあるかを自分の目で確かめて把握しておくだけでも価値があります。

時代と共に様変わりする学生諸君のニーズにあわせて図書館も変わりつつあります。

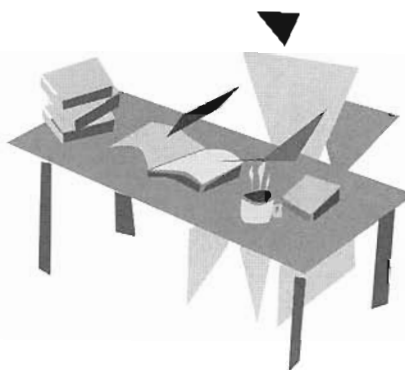
ぜひ一度、図書館に足を運んでみてはいかがでしょうか。

図書館に行ってみよう!

総合図書館委員 藤田 久和

漫画喫茶やインターネット・カフェには行ったことがあるが、図書館には一度も行ったことがない在学生はもちろん、新入生の方々もキャンパス探検のつもりで一度、図書館をのぞいてみてはいかがでしょうか。いずれにせよ、何らかの形で図書館に足を運べばその中で自分の世界を広げる一冊(人)に出会えるかもしれません。

(短期大学部)



図書館だよりに投稿するには必ずしも適切な話題ではないかもしれないが、春休み（今年は2月25日から3週間）に例年大学が実施しているベトナム研修旅行に引率者として同行した感想をしるしておきたい。今年の参加学生数は各学部から8名、それぞれ個性的な若者たちの参加を得て、私自身も大いに気分的に若返った。というのも私が大学院生時代に政府交換学生として西ドイツに留学する船旅の途中に立ち寄ったのが当時のサイゴン、現在のホーチミン市（1962年）であったからである。当時は勿論、J.F.ケネディがサイゴン政権の後押しをして南北あい戦っていた時代であったが、アジアのバリといわれていたフランスの植民地時代の雰囲気か私のような単なる観光客にもかかわらずに伝わってくるような時期でもあった。

今回訪問したホーチミン市は、当時とは全く異なった様相をみせていた。人々はやっと訪れた平和を謳歌して、そのエネルギーをバイク（それをホンダと南の人々はいう）に向ける。模倣の巧みな華僑（だと思う）が、ホンダそっくりのバイクを作って半値以下で売っている（アルファベットでHONGDAと書いてある）が、それでも一般の人たちがたやすく買える値段ではない。にも拘らず、学生も老いも若きもバイク

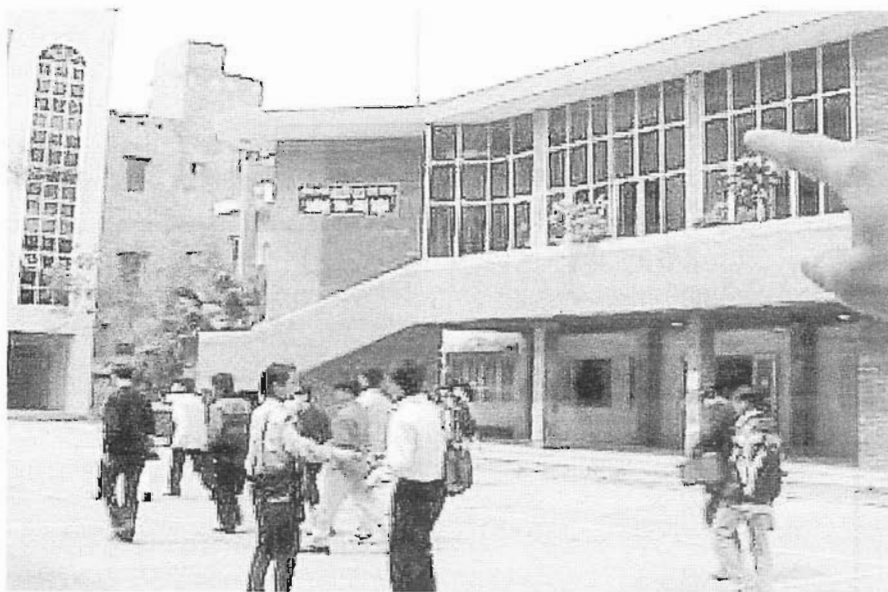
クに乗って一日中走り回っている。その騒音と壮絶さは聞きしに勝る。実際、上海の自転車の行列が、そっくりバイクと入れ替わって、走り回っている状況は日本では想像もつかない。交通ルールもあればこそ、雑然としながらそれ程大きな交通事故も起こさずに、日常生活が営まれていることに、私はまず驚嘆した。道路がそれなりに整備されているにも拘らず、大量輸送機関がほとんど存在していないことによってであることは、間違いない。長い戦争の後、ドイモイという名の社会主義的市場経済が10年ほど前から始まって、いわゆるインフラを整備するための資本蓄積が欠如している段階で、都市計画を立てる前に（道路整備などには日本の援助が大きく貢献している）、一般大衆が自由に経済活動を開始すればどうなるかという見本のような状態が現在のサイゴン（ホーチミン市）だというのは、私の早とちりであろうか。

それは兎も角として、ホーチミン市国家大学やハノイ国家大学（それぞれは幾つかの大学に分かれたけれども）でも、日本語研修熟はさかんであるのに整備のほうがどうもそれに伴っていないくて、蔵書などもかなり貧困である。日本の大学図書館では収蔵場所の不足で廃棄される書物があるが、こういうものを寄贈すれば大いに喜ばれるはずである。

（経済学部）

ベトナム研修旅行に同行して

総合図書館委員 大川勉



●ハノイ国家大学の図書館前



●ホーチミン近くのクチ・トンネルを訪問

表紙について

ルソー、ジャン=ジャック（1712-1778）

『人間不平等起源論』1755 『社会契約論』1762より

懸賞論文の『学問芸術論』が当選し一躍有名となる。ルソーの最も有名な著作である『社会契約論』の中で人間とは何か、社会とは何かを問い続け、人間と自然の間の透明で直接的な関係を回復することを追求した。

なお、ヨーロッパでアルプスへの観光が始まったのはルソーが「自然に帰れ」と提唱してからであった。



# 人間環境学部開設記念特集

人間環境学部設置にちなんで、今回は環境に関する図書の特集を組んでみました。

環境は多様な学問と関係しているため、人間環境学部以外の学部や専門の垣根なく役立つ本がたくさんあります。その中でもぜひ皆さんに読んで頂きたい本を、いくつか紹介したいと思います。



**成長の限界：ローマ・クラブ「人類の危機」レポート/D・H・メドウズ [ほか] 共著  
請求記号：304/15**

経済がこのまま成長していくことに対して、天然資源の枯渇化、公害による環境汚染の進行、発展途上国の爆発的な人口増加、軍事技術の進歩による大規模破壊力の驚異など、人類危機に可能な回避策を探索する目的のために、ローマ・クラブが1972年「成長の限界」と題される報告書を作成し発表したものである。先進国と発展途上国の成長率、人口、生活水準など、人間社会が取組まなければならない最重要な問題を提起している。



**沈黙の春/レイチェル・カーソン著 請求記号：518.5/2**

レイチェル・カーソン(1907-1964)が1962年に執筆した“SILENT SPRING”の邦題。科学的な調査研究をもとに、DDTやBHCをはじめとする有機塩素系殺虫剤や農薬などの化学物質による環境汚染をはじめと本格的に取り上げ、野生生物や自然生態系への影響、後々まで続く環境へのダメージを警告している。当初全米の化学業界や農薬協会などから激しい非難や攻撃を受けたが、同書をきっかけにDDTが全面禁止されるなど化学物質規制が大きく前進し、環境保護局(EPA)発足にもつながったといわれている。



**環境用語辞典：ハンディー版/上田豊甫、赤間美文編 請求記号：519.03/17**

今、大きな社会問題となっている環境について、学生から一般社会人に至るまで、幅広い読者を対象として約1440項目の環境用語を正確でかつ最新の情報を提供している。小項目の用語辞典、英語索引付きで、簡単に参照することができる。



**スモール・イズ・ビューティフル：人間中心の経済学/E.F.シューマッハー著  
請求記号：ボガイ/65、2038、2071**

1973年、シューマッハーが警告した石油危機はたちまち現実のものとなり、彼は“現代の預言者”となった。現代文明の根底にある物質至上主義と科学技術万能主義を痛烈に批判しながら、体制を超えた産業社会の病根を抉ったその内容から「スモール・イズ・ビューティフル」は真に新しい人間社会への道を探る人々の合言葉となった。現代の知的革新の名著である。



**インターネットで探す環境データ情報源/エコビジネスネットワーク編  
請求記号：519/651**

環境経営、環境ビジネスに欠かせない各種環境データ、法令、基準等々を掲載しているホームページ集。膨大な数の「環境関連」ホームページにより、日本を中心に260以上を厳選。付録のCD-ROMを利用すれば、該当アドレスにすぐアクセスできる。

# 環境関係の図書の一部紹介

下記の図書がすでに貸出されている場合は、予約できます。カウンターで手続きをすればその図書が返却されたとき、優先して借りられます。

	書名	著者名	出版社	請求記号
1	ガイアの思想	J.E.ラヴロック [ほか] 著	生産性出版	304/137
2	レスター・ブラウンの環境未来予測	レスター・R・ブラウン [ほか] 共著	同文書院	304/RBR
3	人口が爆発する！	ポール・エーリック著	新曜社	334.3/21
4	入門・環境会計	柴田英樹著	日本経済新聞社	336.9/360
5	都市の文化	L・マンフォード著	鹿島出版会	361.48/TMU
6	センス・オブ・ワンダー	レイチェル・カーソン著	新潮社	404/40
7	潮風の下で	レイチェル・カーソン著	宝島社	460.4/SCA
8	環境生態学序説	松田裕之著	共立出版	468/173
9	動物群集の様式	チャールズ・S・エルトン著	思索社	481.71/1
10	エネルギー：危機の実態と展望	バリー・コモナー著 松岡訳	時事通信社	501.6/63
11	エコロジー・環境用語辞典	天笠啓祐監修	同文書院	519.03/18
12	環境管理用語解説	国際環境専門学校編	国際環境専門学校	519.03/19
13	国際環境法	磯崎博司著	信山社出版	519.12/32
14	中国の環境問題	小島朋之編	慶應義塾大学出版会	519.22/28
15	環境管理	Gilbert F.White [ほか] 著	環境情報科学センター	519.5/111 (7版)
16	廃棄物(ごみ)で日本列島の環境が破壊されている	小柳康彦著	心泉社	519.7/43
17	干潟の自然史	和田恵次著	京都大学学術出版会	519.8/240
18	生活と環境の人間学	長嶋俊介編著	昭和堂	519/713
19	初学者のための環境学習ノート	オ木義夫著	神奈川新聞社	519/717
20	地球環境問題と企業	山口光恒著	岩波書店	519/719
21	図解エコフレンドリーカー	御堀直嗣著	山海堂	537.2/17
22	合成洗剤と環境問題	大矢勝著	大学教育出版	576.59/3
23	飢餓の世紀	レスター・R・ブラウン [ほか] 共著	ダイヤモンド社	611.3/38
24	アジア・アメリカ生態資源紀行	山田勇著	岩波書店	652.2/1
25	エコトピア国の出現	アーネスト・カレンバック著	ダイヤモンド社	933/ECA

## 人間環境学部設置記念コレクション展の開催について

総合図書館では、下記のとおり新学部設置を記念し、所蔵する貴重資料の展示会を開催します。

今回の展示は、「環境」に関連した文献を中心とし、他に鉄道関係の資料、浮世絵、錦絵、古地図等の展示をいたします。

是非、見学方々、図書館までご来場下さい。

新たな発見があると思います。

### 記

- 1) 主要展示物：レイチェル・カーソン著「沈黙の春」(1962年版カバー付)、歌川広重(2代)「諸国名所百景」(江戸末期)など
- 2) 開催期間及び時間：5月10日(木)～12日(土) 午前10時～午後4時
- 3) 会場：総合図書館3階 第2閲覧室  
◎ 入場無料

# 公共図書館に行ってみよう!

図書館の使い方シリーズ (5)

公共の図書館には、大学の図書館にはない読み物的なものや郷土資料などが多く揃っています。ぜひ、家の近くの図書館も利用してみましょう。

	館名	住所	電話番号	休館日
大阪府	大阪府立中之島図書館	大阪市北区中之島1-2-10 <a href="http://www.mydome.or.jp/nakanoshimalib">http://www.mydome.or.jp/nakanoshimalib</a> telnetにより、中之島・中央図書館の蔵書検索が可能。 大阪府に在住・通勤・通学している人をはじめ、近畿圏に在住している人も貸出可。	06-6203-0474	月曜日 祝日・月末
	大阪府立中央図書館	東大阪市荒本5-7-3 中之島図書館に同じ	06-6745-0170	月曜日 祝日・月末
	大阪市立中央図書館	大阪市西区北堀江4-3-2 <a href="http://www.city.osaka.jp/html/sisetu">http://www.city.osaka.jp/html/sisetu</a> 中央図書館と各区に1館ずつ24の図書館があり、 中央図書館に来館すれば全24館255万冊余りの蔵書検索が可能。	06-6539-3300	金曜日 祝日・月末
	大東市立図書館	大東市新町13-10総合文化センター <a href="http://www.city.daito.osaka.jp">http://www.city.daito.osaka.jp</a> 大東市のホームページから図書館情報を確認することができます。	072-873-3523	月曜日 月末
	四条畷市立図書館	四条畷市中野3-5-25市民総合センター2階 <a href="http://www.city.shijonawate.osaka.jp">http://www.city.shijonawate.osaka.jp</a> 四条畷市のホームページから図書館情報を確認することができます。	072-878-3743	月曜・祝日 第3日・第1金
	四条畷市立田原図書館	四条畷市上田原1番地グリーンホール田原2階 四条畷市立図書館に同じ	0743-78-8844	月曜・祝日 第3日・第1金
	東大阪市立永和図書館	東大阪市高井田元町2-9-23	06-6781-5500	月曜日 祝日・月末
	東大阪市立花園図書館	東大阪市吉田4-7-20	0729-65-7700	祝日・月末
	東大阪市立旭町図書館	東大阪市旭町1-1	0729-82-1235	
京都府	京都府立中央図書館	京都市左京区岡崎成勝寺町9 現在新図書館建設中のため休館中。		
	京都市立中央図書館	京都市中京区丸太町通七本松西入北側 <a href="http://www.city.kyoto.jp">http://www.city.kyoto.jp</a> 京都市のホームページから施設情報で図書館情報を確認することができます。 中央図書館をはじめ18の市立図書館があります。	075-802-3133	火曜日
兵庫県	兵庫県立図書館	明石市明石公園1-27 <a href="http://www.library.pref.hyogo.jp">http://www.library.pref.hyogo.jp</a> 県内公共図書館一覧有り。		月曜・祝日 毎月16日
	神戸市立図書館	神戸市中央区楠町7-2-1 <a href="http://www.city.kobe.jp/cityoffice/57/070/welcome.html">http://www.city.kobe.jp/cityoffice/57/070/welcome.html</a> 全ての神戸市立図書館の蔵書検索が可能。市内の図書館案内も有り。iモード対応。		月曜・祝日 第3木
奈良県	奈良県立奈良図書館	奈良市登大路町6-2 <a href="http://www.library.pref.nara.jp">http://www.library.pref.nara.jp</a> 奈良・橿原両図書館の蔵書(雑誌・図書)検索が可能。	0742-27-0801	月曜日 祝日・月末
	奈良市立中央図書館	奈良市東寺林町38 <a href="http://library.city.nara.jp">http://library.city.nara.jp</a> 奈良市立西部図書館の蔵書も同時に検索可能。	0742-26-6101	月曜日 祝日・月末
滋賀県	滋賀県立図書館	大津市瀬田南大萱町1740-1 <a href="http://www.library.pref.shiga.jp">http://www.library.pref.shiga.jp</a> 図書・雑誌・雑誌記事(特集記事)の検索が可能。	077-548-9691	月曜・月末 祝日の翌日
	大津市立図書館	大津市浜大津2-1-3 <a href="http://www.city.otsu.shiga.jp">http://www.city.otsu.shiga.jp</a> 大津市のホームページから図書館情報を確認することができます。	077-526-4600	月曜・祝日 第3日・月末

\* [ ] の館はインターネットで蔵書検索ができる図書館です。

休館日等は変更になる場合がありますので事前に電話で確認してください。



平成12年度

## 第3回学生（選書）モニター実施結果について（報告）

学生の視点で本を選ぶ、第3回学生（選書）モニターが昨年11月11日（土）に紀伊國屋書店梅田本店で実施されました。

本学総合図書館では、学生にとって「よりよい図書館づくり」の一環として、学生の図書資料充実のために、各学部の学生、大学院生、留学生の代表18名と松下館長、中村（孝）図書館委員、図書館職員5名が参加しました。



当日は、松下館長の挨拶に始まり、選書の説明をしました。店内では、手にいっぱい本を持って選ぶ者、後輩のため真剣に本を吟味している者の中、約2時間で選書を終了しました。

選書した図書には、各学部に則した入門書から専門書・ハウツー本・話題の本を中心として、1185冊を購入しました。

学生からは、「早く選書した本が図書館に並ぶのが楽しみです」との意見が多く、過去の貸出率も高い。例えば、さくらももこの『あゝこのころ』は表紙が半年でボロボロになるくらい利用されています。

今回の学生選書会について、全国の大学図書館では余り類を見ない企画であることから毎日新聞、読売新聞に取り上げられ、また毎日放送（テレビ）でも放映されました。

平成13年度も11月の読書週間に「学生（選書）モニター」を予定しています。ポスター等で案内しますので、どしどし参加してください。



毎日放送（テレビ）のインタビューの収録風景

### —後援会寄贈について—

本学後援会から毎年学生用資料として、寄贈していただいています。

昨年度は、上記掲載の第3回学生（選書）モニターを実施した図書の内、100万円相当を寄贈していただきました。

ここに感謝し、厚く御礼申し上げます。

## 学生（選書）モニターについての感想



大学院 工学研究科 電気電子工学  
2001年卒 東條 浩士

11月11日に梅田の紀伊國屋本店で大阪産業大学総合図書館に新しく購入する本を選ぶモニターに参加させていただきました。

私はモニターに選ばれたといっても、そんなに数多くの本を知っている訳ではありません。そのため大学の専門分野と趣味の本を、また読んだらためになるであろうと思われる本を選びました。

専門分野の本には送電系統などを何冊か選ばせていただきました。また、電気電子工学科には電験3種の資格が就職でも有利なのではと思い、友人が3種の資格を取得したときに利用していた参考書を選ばせていただきました。

趣味の本では、パソコンの本やプログラムの本など実際にプログラマーが勉強するのに利用していた本を数冊選びました。

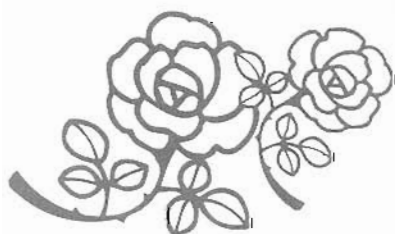
その他に就職関係の本をかなり選びました。それは、私が就職活動をするとき図書館の本を利用しようとしたのですが、本が少なく古いために利点がすくなかったためです。このことには他のモニターの方々も同意見だったとみえて皆さん真剣に選んでおられました。また、私は電気電子工学専攻なので経済や法律などの知識は文科系の学生に比べて劣ります。しかし社会に出たとき、そのようなことは通用しないのではと思い、その関係の本を数冊選びました。

このようにして、2時間はすぐに過ぎ、そのころには私は100冊近い本を選んでいました。一生のなかでこの短時間にこれほどの本を購入することはもうないでしょう。本当に貴重な体験をしました。

そもそも大学図書館の場合は教授が選書するようです。しかし大阪産業大学では学生モニターを採用することで、学生の目線で選ばれた本を図書館に所蔵することによって少しでも多くの学生に利用してもらおうと、他大学ではない試みを実施しているのです。

皆さん、ぜひ図書館をもっと活用してください。きっと図書館を、本を今までよりも身近に感じることが出来ると思いますよ。

最後に図書館へ足を運んだときに、誰かが私の選んだ本を読んでもらえるのを見かけたとき、これほど嬉しいことはないと思います。



工学部 環境デザイン学科  
4年次 谷野 智珠

この度、図書館選書モニターに参加することができ、とても光栄に感じました。普段では手の届かない専門書を次々に積み上げてゆける喜び、以前から欲しかった書籍が図書館に並べられる光景を思い浮かべると心が弾む思いです。

また要望としては、カラーコピー機の設置依頼、卒業生も利用できるシステム、そしてこの選書モニター企画を引続き行って頂くことを強くお願い致します。

この企画を通して、図書館関係者の方々とお話しする機会を得たことで、将来に向けた学生中心の図書館の改革・改善を心がけて下さるということに深く感謝致します。

これからも、図書館を大いにフル活用し、様々な知識を入手し、社会で活躍していきたいと思えます。

ありがとうございました。



経営学部 経営学科  
3年次 田中 陽子

私は図書館を普段、試験前以外は利用しません。又、その時は本は借りず、ただ勉強する場所としてのみ利用し、もし本が必要な場合は他の図書館で借りている状態です。それは、図書館には読みたい本がなく、勉強に必要な本も昔の本や難しく内容を理解しにくい本ばかりで利用しようと思わないからです。

今回、モニターに参加し、自分の読みたくて、興味のある本やAVを図書館に入れてもらうことで、“私の利用したい図書館”になり、図書館を利用する回数も増えると思います。

自分の興味のある本を思うぞんぶん選べるということは、とてもうれしい事で普段自分では絶対にできない事です。いろいろな分野に興味を広げるいい機会でもあり、興味ある分野をより深く理解する機会でもあり、とてもいい事だと思いました。選んでいる時間はとても楽しく、又新たな発見もあり勉強にもなりました。今私の母が介護関係の仕事をしていることもあり、介護保険等にも興味があります。介護関係の仕事は山ほどあり、知らなかった仕事も知ることができ、知識が広がりました。

とてもいい機会を与えて頂き、本当にありがとうございました。



# 学生(選書)モニターが選書した図書の一覧

書名	著者	請求番号	書名	著者	請求番号
標準パソコン用語事典	秀和システム出版編集部編著	007.6/564	森林インストラクター入門	全国林業改良普及協会編集	654/31
誰のためのデザイン?	D.A.ノーマン著	141.51/7	森林・水・土の保全	塚本良則著	656.5/4
勇気づけの家族コミュニケーション	野田俊作著	146.8/38	図解でわかる音楽配信ビジネス	梅田勝司編著	694.5/4
性格はいつでも変えられる	野田俊作著	146.8/39	放送デジタル化の功罪	西正著	699/10
盲目の科学者	ヒーラット・ヴァーメイ著	289.3/118	デジタル放送	西正、野村敦子著	699/11
市民活動の現在	山岡義典編著	335.8/26	名画に教わる名画の見かた	早坂優子著	723/2
桶川女子大生ストーカー殺人事件	鳥越俊太郎&取材班著	368.61/2	ガラス入門	田水常雄著	751.5/4
変化をとらえる	志賀浩二著	410/49	自然のことは	ネイチャー・プロ編集室構成・文	814/7
アインシュタインとファインマンの理論を学ぶ本	竹内薫著	421.2/16	自然のことは	ネイチャー・プロ編集室構成・文	814/7
ペンギン大百科	トニー・D.ウィリアムズ [ほか]著	488.66/1	中国語をはじめよう!	及川淳子著	820/20
はじめてのプラスチック	佐藤功著	578.4/19	しっかり学ぶ韓国語	金裕鴻著	829.15/1
介護の心づかい心のケア		598.4/1	CD付きはじめての英会話	桑原功次著	837.8/58
森と環境の世紀	依光良三著	654/30	あやし	宮部みゆき著	913.6/271
コンピュータウイルスのおはなし	情報処理学会コンピュータウイルス対策部編	007.3/116	ダンス・ダンス・ダンス	村上春樹著	913.6/279/1
IT革命	竹中平蔵、船橋洋一編	007.3/118	希望の国のエクソダス	村上龍著	913.6/285
暗号のおはなし	今井秀樹著	00.7/566	アンテナ	田口ランディ著	913.6/290
手にとるように心理学がわかる本	渋谷昌三著	140/28	機械じかけの猫	トリイ・ヘイデン著	933.7/27/1
人はなぜ誤るのか	海保博之著	141.51/8	ハリリー・ポッターと賢者の石	J.K.ローリング作	933/25
生きがいの創造	飯田史彦著	147/3	ハリリー・ポッターと秘密の部屋	J.K.ローリング作	933/26
聖書のなかの女性たち	遠藤周作著	193.5/3	誰も教えてくれなかった日本神話	出雲井晶著	ボカイ/3441
近世大阪の経済と文化	脇田修著	216.3/41	できればムカつかずに生きたい	田口ランディ著	ボカイ/3454
十六の墓標	永田洋子著	289.1/65/1	なぜかふしぎと好感を持たれる人持たれない人	榎垣純著	ボカイ/3458
連合赤軍「あさま山荘」事件	佐々淳行著	309.31/1	その時歴史が動いた	NHK取材班編	ボカイ/3473
平和学	白井久和、星野昭吉編	319.8/76	少年犯罪と心理経済学	村上龍編著	ボカイ/3496
国際結婚ハンドブック	国際結婚を考える会編	329.91/2	東大で上野千鶴子にケンカを学ぶ	遥洋子著	ボカイ/3501
チェンジ・リーダーの条件	P.F.ドラッカー著	335.1/194	水族館に行こう	中村庸夫写真・監修	ボカイ/3514
本田宗一郎の経営学	北岡俊明著	335.13/108	小さいことにくよくよするな!	R.カールソン著	ボカイ/3522
倒産のしくみ	末松義章著	335.46/15	交渉力入門	佐久間賢著	ボカイ/3530
エコマネー	加藤敏春著	338/52	環境法入門	畠山武彦、大塚直、北村喜宣著	ボカイ/3531
角が立つ韓国人丸くおさめる日本人	王秀英著	361.42/21	大学でなにを学ぶか	隅谷三喜男著	ボカイ/3532
少年犯罪	前田雅英著	368.71/2	アジアの知略	李登輝、中嶋頌雄著	ボカイ/3537
東西お茶交流考	矢沢利彦著	383.8/9	ビートルズ学入門	瓜田寛治著	ボカイ/3545
道具の謎とき		383.93/5	君のためにできるコト	菊田まりこ著	ボカイ/3553
ユークリッド「原論」の成立	斎藤憲著	414.1/2	ハーブの本	桐原春子著	ボカイ/3563
ピタゴラスの定理	大矢真一著	414.1/3	仕事ができる人できない人	堀場雅夫著	ボカイ/3582
正多面体を解く	一松信著	414.13/3	星座を見つける	出雲晶子著	ボカイ/3618
工学系学生のためのヒルベルト空間入門	高橋宣明著	415.5/7	「すばる」が捉えた驚異の宇宙	NHK科学番組部編	ボカイ/3619
なっとくする音・光・電波	都筑卓司著	424.3/2	会社を選ぶ新しい眼	西岡幸一著	ボカイ/3652
月の本	林次写真	446.04/1	日経就職百科		ボカイ/3653
遺伝子のしくみ	池北雅彦、小原康治著	467.2/12	エルミタージュとサンクト・ペテルブルク	富田知佐子[著]	ボカイ/3660
クローン		467.25/8	屈辱ボンチ	町田康著	ボカイ/3670
毒性学	藤田正一編	491.59/6	少年犯罪と心理経済学	村上龍編著	ボカイ/3675
疲れる理由	ベンジャミン・H.ネーテルソン著	493.1/1	オウム裁判と日本人	降幡賢一著	ボカイ/3683
ビオトープの形態学	杉山恵一著	498.4/18	生きるヒント	五木寛之 [著]	ボカイ/3684
自然環境復元の技術	杉山恵一、進士五十八編	498.4/19	必勝!工業簿記		336/37/V
壊たきりにさせないために	櫻村陽太郎著	498/12	必勝!商業簿記		336/38/V
ビジネスモデル特許入門	窪田・吉田法律特許事務所著	507.23/26	日商2級商業簿記		336/39/V
淡水生物の保全生態学	森誠一編著	517/40	日商2級工業簿記		336/40/V
環境を守る最新知識	日本生態系協会編著	519.8/279	日商簿記3級		336/41/V
環境ホルモン&ダイオキシン	「化学」編集部編集	519/708	商業簿記会計学		336/42/V
安藤忠雄	安藤忠雄著	520.8/6	商業簿記会計学		336/43/V
ヨーロッパ建築案内	洲上正幸著	523.3/7/1	商業簿記会計学		336/44/V
よみがえる民家	中善寺紀子著	527/46	商業簿記会計学		336/45/V
日本のオートバイの歴史	富塚清著	537.98/22	工業簿記原価計算		336/46/V
自動車のメカはどうなっているか	GP企画センター編	537/30/イン	工業簿記原価計算		336/47/V
排水の公害対策	松谷守康著	571.9/3	工業簿記原価計算		336/48/V
微生物の農業利用と環境保全	比嘉照夫著	613.56/3	工業簿記原価計算		336/49/V
人気ガーデナーのガーデンデザイン	家庭画報編集部編	629.75/2	以上 他1,070冊		

## 学生選書モニターの見解—要望について(Q&A)

～昼食時に、自由な意見・要望を聞きました。主な項目に整理してみました。

(1) 貸出冊数及び貸出日数を増してほしい。

A. 現在、「貸出冊数5冊」「貸出日数14日以内」となっていますが、この条件は、他大学でも同様で妥当性があると思います。貸出日数を延ばす場合は「継続(延長)制度」を利用してください。

(2) 就職コーナーの場所をわかりやすくPRしてほしい。

A. 今後、案内板の設置等の検討をします。

(3) 就職関係の本を貸出できるようにしてほしい。

A. 就職コーナーは、就職・資格関係図書を毎年集中して購入し、充実を図っていますが、このコーナーの本は全学共通で利用される図書です。皆さんの閲覧用の資料として考えています。

なお、2階文庫本(ボガイ)コーナーには一部の就職図書を貸出用として置いています。

(4) 専門書が少ない。「自動車」関係の図書・雑誌が少なく、増やしてほしい。

A. 収書・選書に関しては「資料収集方針」に基づき、各学部のバランスを考慮しています。また予算の制約もありますが、購入希望の図書があれば、「リクエスト制度」を利用するか、カウンターへ申し出てください。

(5) OPACの利用の仕方・表示がわかりづらい。

A. 詳しい説明書を置いていますが、わからないときは、カウンターにたずねてください。

(6) カラーコピー機を入れてほしい。

A. カラーコピー機の設置については、今後は検討します。必要な場合は、カウンターに申し出てください。3階事務室のカラーコピー機を使用します。(1枚100円)

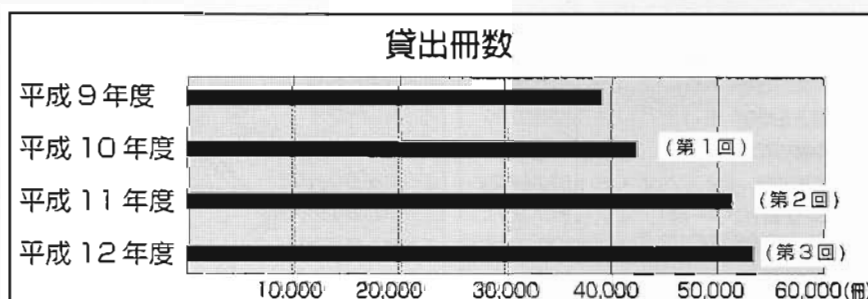
(7) 卒業生も図書館を利用できるように許可してほしい。

A. 卒業生の利用(閲覧)はできます。貸出については現在検討中です。

以上のほかに、なにかわからないことがあれば、係員に気軽にたずねてください。

### 利用者の推移 (過去4年間)

	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度
開館日数	229日	235日	244日	241日
入館者	—	389,466人	395,128人	359,442人
(1日平均)	—	(1,657人)	(1,619人)	(1,491人)
貸出者数	21,101人	22,912人	26,391人	27,358人
貸出冊数	39,184冊	43,376冊	50,764冊	52,945冊
備考	—	第1回選書モニター	第2回選書モニター	第3回選書モニター









# 総合図書館インフォメーション

## 平成13年度 図書館ガイダンスに参加しよう!

(みなさんの学問と研究をサポートします)

“新入生ライブラリー・クイックツアー”を4月5日(木)から12日(木)の6日間実施しました。ツアーには、述べ38名の新入生の参加がありました。

今年は、短時間(30分間)にいかにも楽しく、幅広い講習を受けていただくかをテーマとして、館内ツアー、図書の探し方、OPAC(コンピュータ検索)の説明を行いました。またゼミ単位・授業単位のガイダンスも、4月から5月にかけて予定しています。



### 今後のガイダンスの予定は、次のとおりです。

#### ライブラリーツアー (在学生・新入生対象)

○内容: ①「図書館の達人」ビデオ放映  
②館内ツアー ③本の検索方法

5/21(月) 11:00~12:00, 14:00~15:00  
5/23(水) 11:00~12:00, 17:00~18:00  
5/24(木) 11:00~12:00 <各1時間>

#### 文献・情報検索ガイダンス (全学生・院生対象)

○レポート・卒論の作成に役立ちます。

6/11(月)、12(火)、13(水)  
10/1(月)、3(水)、5(金)  
各14:00~15:00 <各1時間>

○集合は2階カウンター前です。もし、参加希望者で日程に合わない方はカウンターに申し出てください。

大阪府立総合図書館  
ライブラリー・コンサート



大阪府立総合図書館  
ライブラリー・コンサート  
5月12日(水) 12:20~14:00  
PM12:20~14:00

### ライブラリー・コンサート

- 場所: 総合図書館3階AVルーム
- 日時: 第1月曜、第3木曜日  
(12:20~14:00)
- プログラムは、図書館玄関に置いています。

図書館では、所蔵のCD、ビデオ、LD等を使用し、“音楽と映像を楽しむコンサート”を開催しています。この4月から“スーパーツィター”を追加して、より音の臨場感が増すようになりました。勉強、仕事の合間のひととき、音楽でくつろぐ空間がここにありませんか? 頭と心の栄養を補給しませんか?

### 編集後記

「個人の手に残る国家間の軋轢、人間の英知を集めても止められぬ破壊、身近に至っては想像もできない無残な様々な哀しみ…」理解の域を確かに越えてはいる。しかし万人が満足する的確な答えを求め過ぎてはいないだろうか? 事が起こるにはそれなりの刻の経過があったはずなのに、早急に結果(YESかNOか)を出そうとする。それ程、私達“人類”と称する者は優秀な生き者なのか。頭をたれて心静かに小さき者として、へり下る余裕をもちうるものでありたいと願う。

尊敬するエミー・カーマイケルの言葉である。  
『「いいえ」も祈りの答えではありませんか?』

「沈黙」ですら祈りの答えであり、時には「待ちなさい」また「はい」とともに「いいえ」という答えがあることを」

ご多忙中、今号の編集にご協力くださいました皆様方に厚くお礼申し上げます。

(H.S)

図書館だより No.8

発行日 平成13年5月10日

編集・発行 大阪産業大学総合図書館

大阪府大東市中垣内3丁目1-1

Tel.072(875)3001(代)

Fax.072(873)1664



この印刷物は、環境保護のため、エコマーク認定の再生紙を使用しています。

印刷・製本 (株) 藤井印刷店